

授業科目 地域保健協働実践演習	科目概要・形式 1単位30時間(15コマ) 演習科目	配当年次 博士前期1年次 後期開講	オンライン参加 可・不可 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">(一部不可)</div>
科目責任者	古川 照美		
担当者	古川 照美、清水 亮、瀧澤 透、新岡 大和、倉内 静香 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標			
特定地域における地域保健福祉に関する健康課題・生活課題を、他職種とともにエスノグラフィー等を用いて明らかにし、住民との協働活動も視野に入れた、地域における包括的な課題解決を探究する方法を実践的に学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
エスノグラフィーと IPE、IPW、地域住民との協働活動について解説し、実践的なエスノグラフィーにより理解を深める。 ①日本における「地域」の課題と IPE、IPW (2 コマ) (瀧澤、清水、新岡) ②地域の健康課題のとらえ方 (エスノグラフィーについて) (1 コマ) (古川、倉内) ③特定地域における実践的なエスノグラフィー (全員) 事前に参与観察の依頼、インタビューガイドの作成、関連資料の検討等 実践的なエスノグラフィー (2 日間) (6 コマ) ④特定地域の健康課題・生活課題の明確化と構造的理解(2 コマ) (全員) ⑤包括的な課題解決の考察(2 コマ) (全員) ⑥まとめ (地域のとらえ方・考え方) (2 コマ) (全員)			
3. 教科書、参考書			
参考書：金川克子 編田高 悦子 編：「地域看護診断 第 2 版」、東京大学出版会、 2011 年、ISBN978 4 13 062408			
4. 成績評価方法			
レポート・まとめ 60%、参加態度 40%(実践的なエスノグラフィーを行うことを含む)			
5. 受講要件			
前提として IPE、IPW に関する科目のため 3人以上の履修者があって、開講 されます。			
6. 社会人学生に対する配慮			
夜間及び土日開講としますが、フィールドとなる地域の状況によっては、平日の時間帯になる場合もあります。			
7. その他			
日程は、履修者決定後に調整します。実践的なエスノグラフィーについて、地域の状況によりオンライン参加ができない場合があります。演習科目のためオンデマンドはありません。			